



- ① 配本希望部数をご記入のうえ郵送またはFAXにてご連絡をお願いいたします。希望部数を優先して配本しておりますので、必ずお申し込み下さい。
- ② 委託期間内返品可 配本後到着の注文書を注文扱いにて出荷させていただきます。
- ③ ★印の図書は特にご注目下さい。平積み頂ければ幸いです。
- ④ 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年5月中旬配本</b> 定価2160円(本体2000円+税) マルク・アリザール 著/西山雄二、八木悠允 訳 <b>犬たち</b> ISBN978-4-588-13027-4 C1010	四六判上製・184頁
★★ 驚くべき頑固さと並外れた繊細さをあわせもち、先史時代よりわれわれの善き友人でありつづけてきた犬たち。ときに幸福な愚か者として描かれ、ときに盲目的な服従者の象徴とされるかれらはしかし、みずからの運命を心から楽しみ、喜びに身を寄せる思想家のように見える。ギリシア神話、聖書の世界から現代思想・現代文学にいたる犬たちの物語を読みとき、かれらの幸福のありようを学ぶ哲学的断片。 <b>【哲学・思想】</b> ☆最も身近で最も謎めいた存在を論じたピュルガ『猫たち』と同時刊行！			

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年5月中旬配本</b> 定価1944円(本体1800円+税) フロランス・ピュルガ 著/西山雄二、松葉類 訳 <b>猫たち</b> ISBN978-4-588-13028-1 C1010	四六判上製・144頁
★★ われわれは猫たちと生活を分かちあっているが、かれらのことを何も知らない。どこにでも姿を現す猫たちは、たしかにここにいたはずなのに、同時に別のところにもいる。いくつもの帰るべき場所をもつかのようなこの優雅な獣の眼差しは、われわれの侵入を拒みつづける。動物行動学、現象学、精神分析をひきつづ愛すべき猫たちのふるまいを見つめ、見知らぬ者とともに生きることを学ぶ哲学的断片。 <b>【哲学・思想】</b> ☆人々に寄り添う小さな哲学者を論じたアリザール『犬たち』と同時刊行！			

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年5月20日配本</b> 定価3456円(本体3200円+税) 梅崎 修、田澤 実、佐藤一磨 編著 <b>学生と企業のマッチング</b> データに基づく探索 ISBN978-4-588-68609-2 C1037	A5判並製・266頁
労働市場や就活スケジュールが変転し、働き方や将来ビジョンも不透明化し続けたこの10年を扱う総合的実証研究。学生の地域移動や女性のキャリア展望、インターンシップなど個別のテーマの分析とともに、大学入学から就職活動をへて離職・転職にいたる学生側の意識の変化や、企業側の採用行動などをアンケートをもとに検証し、就活市場の実態を明らかにする。『大学生の内定獲得』の姉妹編。 <b>【就職市場研究】</b> ☆関連書：梅崎修・田澤実編著『大学生の内定獲得』、同『大学生の学びとキャリア』（以上、小局刊）。			

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年5月24日配本</b> 定価3240円(本体3000円+税) 成澤 光 著 <b>生命倫理と公共政策</b> ISBN978-4-588-67523-2 C1036	A5判並製・320頁
★ 技術の発展が可能にした生殖補助医療、人工妊娠中絶、遺伝医療と再生医療、臓器移植、終末期医療の各テーマをめぐって、これまで国内外で積み重ねられてきた生命倫理の重要な論点を総ざらいし、公共政策の視点から問題の所在と妥当な対策を提示する。「自律性」「共生」「自然性」を原則とする著者独自の政策理念のもと、膨大な先行文献をふまえ、将来への展望を示す最良の研究・概説書。 <b>【生命倫理】</b> ☆関連書：ピルンバッハー『生命倫理学』、玉井、永水、横野編『子どもの医療と生命倫理』（以上、小局刊）。			

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年5月下旬配本</b> 定価4104円(本体3800円+税) アクセル・ホネット 著/出口剛司、宮本真也、日暮雅夫、片上平二郎、長澤麻子 訳《叢書・ユニベルシタス 1093》 <b>理性の病理</b> 批判理論の歴史と現在 ISBN978-4-588-01093-4 C1310	四六判上製・320頁
★ 哲学と社会分析の結びつきが壊されていく脅威とともに、歴史的・社会的諸過程から独立して理性のさまざまな可能性を把握する機会も失われ、人間の理性的能力の潜在力が歪められていく。本書は承認論の第一人者にして、フランクフルト学派を代表する哲学者が、カント、フロイト、ベンヤミン、アドルノなどを革新的に論じ、批判理論のアクチュアリティを提示する。 <b>【哲学・思想】</b> ☆関連書：ホネット『私たちのなかの私』『承認をめぐる闘争』『見えないこと』『物象化』（以上、小局刊）。			

帖合・番線	部数	法政大学出版局 <b>2019年6月上旬配本</b> 定価7884円(本体7300円+税) ゴドフリー・リーンハート 著/出口 顯 監訳 <b>神性と経験</b> デインカ人の宗教 ISBN978-4-588-01095-8 C3339	四六判上製・534頁
《叢書・ユニベルシタス 1095》 南スーダンの牧畜民デインカ人を対象とした宗教民族誌。無文字社会における従来の信仰と実践の理解を大きく揺さぶった本書は、やはり同じ地域の牧畜民を論じたエヴァンズ＝プリチャードの『ヌアー族の宗教』と双璧をなす、社会人類学の古典的名著である。寡作だった著者の主著でもあり、長らく邦訳が待たれていた。監訳者による詳細な解説は、より深い理解の助けとなることだろう。 <b>【社会人類学・宗教】</b> ☆関連書：ヘンドリー『社会人類学入門』、ラトゥール『社会的なものを組み直す』（以上、小局刊）など。			

ご担当者様 氏名： [ ] 担当ジャンル： [ ] TEL： [ ] E-mail： [ ]

\* 配本部数等で事前にご連絡する場合がございます。上覧にご担当者様氏名・TELをご記入下さい。  
 \* 宛名ラベルの内容に変更がございましたらお知らせ下さい。次回以降訂正致します。  
 \* 今後、新刊内容のデータ等をeメールにて配信させて頂く場合がございます。よろしければメールアドレスをご記入下さい。